



青森アップルポーク

青森県の七戸町に本社と自社工場を構える「LOCO・SIKI (ロコ・シキ)」。店頭には並ばない県産りんごをアップサイクルし餌として与えることにより、クセがなくりんごのように甘くすっきりとした柔らかい肉質を実現したオリジナルブランド豚「青森アップルポーク」は、県内はもちろん都内の有名ホテルや飲食店でも採用されるなど、新興ブランドながらプロも認める味として着実に認知と評価を拡大しています。

昨夏、青森ねぶたのメイン会場で提供し連日行列をつくった青森アップルポークの角煮まんが商品化。会場だけでなく、ご家庭でも楽しめるようになりました。分厚いながらも柔らかくすっきりとした食べやすい角煮は、青森アップルポークの真骨頂。そのお取り寄せセットを特別先行販売します。青森の豊かな恵みをぜひご家庭でご堪能ください。

【優待情報】

●青森アップルポークの
角煮まん 5食セット
特別先行販売
価格：3,942円 (税込・送料別)
※ご購入は右の二次元コードから



RESTAURANT TOYO (東京ミッドタウン日比谷)

和食の要素を取り入れたフレンチをカウンタースタイルで提供する「RESTAURANT TOYO」。季節を感じさせる新鮮な食材への探究心、そして素晴らしい素材の旨みを最大限に活かすことへの強いこだわりがあります。目で味わい、口で触れ、五感で楽しむ。心が躍るような、お客様が笑顔になれる逸品を目指しています。

【優待情報】

ランチコースにデザートを1品追加した特別ランチコースを期間限定でご提供。上記の「青森アップルポーク」を使用したメイン料理を含むランチコース。
価格：7品 6,600円 (税込)
※詳細は本誌98ページを参照ください。



残を感じることができません。ねぶたの表面には逞しい武者絵が描かれ、背面には繊細な美人画が描かれます。これは表面の豪華絢爛たる動の世界に対して、徹底して物寂しさを追求する静の世界を表現しています。観客はこの好対照な幻想の世界に魅了され、一瞬の非現実に浸るのです。

幾多の変遷を経ながらも親から子へ、そして子から孫へと引き継がれてきたその歴史と伝統のなかには、現代では失われつつある世代間の交流や地域の融和を確実に見ることが出来ます。この黒石ねぶたをなくしてはならない文化として、その歴史や人々の思いを大切に守りながら後世へ受け継ぎ、たくさんの人々に魅力を伝えていくこと。これが何よりの使命です。あなたの五感で、ぜひ感じてみてください。

八甲田ホテル

標高約900メートル、原生林が広がる国立公園に建つ雲上のリゾート。日本最大級の洋風ログ木造建築が静寂な森に溶け込みます。ブナ林や八甲田連峰を望む客室、青森の食材を用いた料理、そして自家源泉かけ流しの湯。手付かずの大自然がゆっくりと心を解きほぐします。

【優待情報】

●ご利用金額100円につき
ダイナースクラブ リワードポイントを
通常ポイントに1ポイント加算
●送迎サービス(要事前連絡)

※ポイントアップについてはウェブサイト上の「ご利用ガイド」をご確認ください。
<https://dpointup.com/hotel/guide/>



毎年農閑期の7月30日～8月5日に開催される夏の一大行事である黒石ねぶた。7月30日には藩政時代から今に残る「こみせ通り」を扇ねぶた・人形ねぶたが運行し、笛・太鼓・鉦のはやしに、大人、子どもの「ヤーレーヤー」の勇ましい掛け声で街は熱気にあふれ、ねぶた一色に彩られます。「こみせ」とは、雪や雨をしのぐために作られたアーケード状の通路のことで、雪国特有のもので。日本の道百選」にも選ばれている情緒溢れる町並みを威風堂々とねぶたが運行する姿は圧巻です。

江戸時代、武士の華・喧嘩ねぶたは人々が日々のうつぶんを晴らす場でした。豪壮な武者絵や「石打無用」の文字に当時の名

黒石ねぶたプレミアム体験ツアー

●日時：2025年7月30日(水)
●人数：先着15名
●参加費：お一人様 200,000円(税込)

※プログラムガイド料、特別観覧席料、お食事代、記念品、保険料を含む。
※宿泊費は含まれていません。

15:00 松の湯交流館集合
15:15 黒石 中町こみせ通りまちあるきツアー
17:00 御幸公園(ねぶたの集合場所) 散策
→黒石ねぶたの山車の最上部に上る
19:00 ねぶた運行スタート
19:30 松の湯交流館前で離団
19:40 郷土料理を食べながらのねぶた運行鑑賞
21:00 解散



ご予約はこちらから



各種優待の詳細、
および購入は右の
二次元コードから→



ふるさと ときめき プロジェクトとは

その土地ならではのユニークな食材や、その土地でしかできない体験などをダイナースクラブの目利き力をもって皆様にお届けしていきます。

地域にときめきを

ダイナースクラブと作る
あなたのもう一つのふるさと

第5回



ダイナースクラブが取り組む新しいプロジェクト